

宍道湖畔にレストランやキッチンカーが並び、イベントや水上アクティビティが楽しめるにぎやかな水辺になっている。



2030年、市民の実感

世界の水都MATSUEが 水辺と公共交通の 概念を変えた



路線バス、コミュニティバス、AIデマンドバスなどのきめ細かい役割分担によって公共交通が使いやすくなった。



大橋川沿いが憩い・集い・くつろげる水辺空間になり、たくさんの親子連れが訪れている。



目標

中心市街地の水辺が利用しやすいと感じる市民の割合

70%



松江のチャレンジ

- 水上交通など、「水の都・松江」を実感できる多様なアクティビティ(※)をつくります。

※アクティビティ…活気。活動。特に、リゾート地などでのさまざまな遊びのこと。

- 宍道湖畔に、子どもも大人も安心して遊ぶことができる親水空間を整備します。

- 既存の公共交通を補完するAIデマンドバス(※)を導入し、だれもが利用しやすい交通ネットワークを整備します。

※AIデマンドバス…従来の定時定路線型のバスではなく、利用者の予約に対しAI(人工知能)により最適な運行ルート、配車をリアルタイムで行うバスシステム。

私のチャレンジ


